

(2016/11 ~ 2017/10)

帝国データ16年11月期～17年10月期

3142億円 過去最高更新

県内101社ランク

帝國デパートバンク沖繩支店は6日県指名ランク特A工事業者の売上高をキنگ(2016年11月期・17年10月期)を発表した。特A101支の売上高は前年同期比3・3%増の3142億4400万円で過去最高を更新。ホテル商業施設、飲食店などの民間工事の増加に加え、公共工事の受注も伸びた。方、赤字企業は5社増の8社で、純損失合計は7・7倍に増加。同支店は「材料費や資材の高騰で収益確保が難しくなっている企業もある」と説明した。

増収企業は3社で、減収48社が多かった。純損益で黒字企業は93社で前年から5社減ったが、赤字企業の数を大きく上回った。

期の遅れのコスト増などがかさんでいる。

売上高1000億円以上は7社、上位7社の売上高合計は1108億7900万円で、

2位の油電土は工事部門と電材卸売部門とも受注が伸び、7・7・7増の176億7700万円だった。3位は住友建設で公共、民間とも

純利益の白粉は9・22増の80億9430万円だった。赤子企業の純損失は7億8865万円。人件費、資材の高騰に加え、人手不足による工	全体の35・3%を占めた。売上高トップは國場建設の284億200万円。建設資材の捨て石販売などが落ち、3・5%の減収となった。	受注が増えて13・4%増の60億4400万円となった。
同支店は「集合住宅と商業施設の需要は高く、県外から		

当期	前期	会社名	決算期	売上高 (百万円)	売上高 増減率 (%)	所在地
1	1	國場組	2017	6	28.423	▲3.5 那覇市
2	2	沖電工	2017	3	17.678	7.7 那覇市
3	3	屋部土建	2017	9	16.044	13.4 名護市
4	6	金秀建設	2017	3	14.524	16.9 那覇市
5	5	大米建設	2017	6	13.625	9.0 那覇市
6	7	仲本工業	2017	10	10.312	7.0 沖縄市
7	4	大城組	2017	3	10.273	▲26.1 浦添市
8	8	太名嘉組	2017	6	8.060	5.1 浦添市
9	18	上門工業	2017	6	6.287	76.2 沖縄市
10	10	新洋	2017	5	6.027	4.6 浦添市
11	12	東江建設	2017	6	5.101	1.1 浦添市
12	11	共和産業	2017	6	5.024	▲5.2 宮古島市
13	9	大成ホーム	2017	3	4.651	▲23.8 浦添市
14	20	徳里産業	2017	6	4.428	28.8 嘉手納町
15	15	大甯建設	2017	6	4.264	5.1 那覇市
16	34	北勝建設	2017	5	4.113	67.8 国頭村
17	14	福島組	2016	12	4.052	▲4.7 嘉手納町
18	13	東恩納組	2017	6	3.815	▲13.0 豊見城市
19	22	りゅうせき建設	2017	3	3.786	13.1 浦添市
20	29	大鏡建設	2017	7	3.653	29.7 那覇市
21	26	大地建設	2017	5	3.640	24.8 那覇市
22	19	ツナミ組	2017	6	3.534	1.8 名護市
23	21	先崎建設	2017	6	3.464	3.4 宮古島市
24	23	照正組	2017	6	3.427	4.4 与那原町
25	44	佐平建設	2017	6	3.226	61.9 宮古島市
26	24	金城キウ建設	2017	6	3.135	▲3.7 那覇市
27	17	沖電開発	2017	3	3.059	▲14.4 浦添市
28	27	大興建設	2017	6	3.013	3.7 嘉手納町
29	25	与儀組	2017	6	2.845	▲8.5 那覇市
30	40	富士建設	2017	7	2.742	31.4 宜野湾市
31	42	東波建設	2017	2	2.659	27.8 浦添市
32	30	東開発	2017	6	2.657	▲0.1 名護市
33	28	琉球開発	2017	5	2.597	▲7.9 沖縄市
34	32	第一三興建設	2017	6	2.550	▲0.8 那覇市
35	35	屋島組	2017	5	2.538	14.4 那覇市
36	37	照屋土建	2017	6	2.443	29.4 糸満市
37	48	太田建設	2017	6	2.414	29.7 沖縄市
38	43	丸元建設	2017	9	2.408	17.3 那覇市
39	45	丸内重機	2017	6	2.398	25.2 宜野湾市
40	31	旭建設	2017	6	2.379	▲8.0 北谷町
41	46	沖構工設	2017	6	2.372	24.1 浦添市
42	65	仲本建設	2017	6	2.359	48.1 沖縄市
43	61	大寛組	2016	12	2.330	42.2 那覇市
44	36	南洋土建	2017	5	2.280	4.7 那覇市
45	60	仲程土建	2017	6	2.230	34.6 宜野座村
46	64	丸善組	2017	6	2.212	37.9 うるま市
47	38	平安座総合開発	2017	6	2.176	2.1 うるま市
48	51	呉屋組	2016	9	2.136	15.1 糸満市
49	16	丸尾建設	2017	7	2.075	▲45.6 石垣市
50	69	極東建設	2017	4	2.062	47.1 那覇市
51	54	オパス	2017	6	2.039	14.4 浦添市
52	58	東洋コンクリート	2017	3	1.914	14.1 西原町
53	33	米元建設工業	2017	6	1.848	▲26.1 那覇市
54	53	南成建設	2017	5	1.767	▲1.7 那覇市
55	66	金城組	2017	6	1.758	13.2 南風原町
56	49	丸憲	2017	6	1.742	▲6.2 那覇市
57	81	尚輪興建	2017	5	1.716	61.0 宮古島市
58	37	光南建設	2017	6	1.663	▲22.2 宜野湾市
59	50	内盛産業	2017	5	1.607	▲13.5 沖縄市
60	62	丸政工務店	2017	6	1.590	▲2.4 金武町
61	68	国吉組	2017	6	1.578	9.0 うるま市
62	76	國幸興發	2017	6	1.570	36.6 那覇市
63	72	明成建設	2017	6	1.550	17.7 浦添市
64	63	共和技研	2017	6	1.547	▲4.6 豊見城市
65	57	基土木	2017	5	1.543	▲11.3 沖縄市
66	52	三善建設	2017	6	1.496	▲18.9 西原町
67	55	善太郎組	2017	5	1.431	▲19.0 那覇市
68	41	明成建設	2017	5	1.397	▲32.9 沖縄市
69	74	高橋土建	2017	6	1.364	4.6 那覇市
70	95	豊神建設	2017	6	1.305	68.4 豊見城市
71	71	鏡原組	2017	5	1.276	▲3.4 那覇市
72	73	牧港建設	2017	6	1.268	▲3.6 浦添市
73	67	琉幸建設	2017	6	1.237	▲18.6 うるま市
74	70	野原建設	2017	5	1.237	▲7.1 那覇市
75	75	くくる	2017	6	1.190	▲7.5 名護市
76	59	協栄海事土木	2017	8	1.174	▲29.8 与那原町
77	82	南山開発	2017	4	1.142	12.7 豊見城市
78	83	沖永開発	2017	6	1.131	12.2 浦添市
79	77	小波津組	2017	6	1.122	▲0.3 那覇市
80	56	山口建設	2017	6	1.079	▲38.8 大宜味村
81	39	オリジン建設	2017	6	1.069	▲49.0 那覇市
82	80	内間土建	2017	6	1.009	▲6.9 浦添市
83	97	丸石建設	2017	6	972	35.6 うるま市
84	79	沖縄道路	2017	5	951	▲13.0 名護市

県内 好況感 広がる

DI 50カ月全国トップ

帝国データバンクの3月の景気動向調査で、沖縄の景気DIが63・9となり、4年2カ月（50カ月）連続で全国トップ回答を傳た。

県内企業倒産35件

17年度負債総額41億円最少

帝國デタタバコ川沖繩支店が6月発表した2007年度の県内企業倒産件数は35件で前年度から11件減少した。負債総額は38・8%減の41億1800万円で、集計方法を要

更した05年度以降で、最も少なかった。同支店は、観光地建設を中心に県内景気が好調だったため倒産は低水準にとどまっていたとし、「景気後退の影響が見られず、今後も低い

県内景気「拡大」続く
日銀那覇
2月概況

日本銀行那覇支店（松本孝一店長）が6日発表した2月の県内金融経営概況は、観光が好調に推移し、個人消費、建設関連は堅調、雇用・所得情勢は一段と改善していることから「県内景気は全体として拡大している」と判断した。同判断は55カ月連続。

松本支店長は「2月は春闘
(旧正月)やプロ野球キャン
プ、修学旅行などがあつたが
需要をしつかり取り込めた。
このいい状態が続くとみてい

琉球ガラス世界へPR

30万人を
スーを設
を含む国

新聞からヒント 読み解き方学ぶ

沖縄ハーバービュー



ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー(松宮郷総支配人)は6日、沖縄タイムス社が提供する「新聞読み方講座」を同ホテルで開いた。新人研修の一環で若手社員も含めた8人が参加し、記事の見出しや前文から効率的に情報を得る方法、仕事へ

でも情報の概要が分かる」と説明。「継続して目を通す」として関心の幅を広げ、お客の質問に答える材料にすることができると強調した。受講した大石さくらさん(18)は「これまでは、文字が多くて読み切れない、と思っていた。でも、きょう読み方

85	86	古波蔵組	2017	5	906	▲ 3.7	宮古島市
86	90	喜屋武建設	2017	6	902	0.2	浦添市
87	85	大協建設	2017	5	892	▲ 7.4	読谷村
88	93	ニシダ工業	2017	6	873	12.1	那覇市
89	84	七和	2017	5	818	▲ 15.5	西原町
90	99	米正建設	2017	6	815	45.8	那覇市
91	89	光建設	2017	5	813	▲ 9.9	糸満市
92	96	武国建設	2017	6	770	6.2	名護市
93	98	呉開発	2017	6	756	15.8	那覇市
94	91	沖栄建設	2017	6	726	▲ 15.8	那覇市
95	94	大智	2017	6	700	▲ 9.9	南大東村
96	78	共洋土建	2017	6	695	▲ 37.6	那覇市
97	87	前田建設	2017	6	684	▲ 25.5	宜野湾市
98	92	南海土木	2017	6	645	▲ 21.5	石垣市
99	100	とみしろ建設	2017	5	519	▲ 3.7	那覇市
100	88	丸孝組	2017	5	500	▲ 45.5	大宜味村
101	101	仲間組	2016	12	448	▲ 11.3	金武町
合計					314,244	3.3	

敬天 人の心を写す月島加ら